

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第41号 2023. 8. 7 発行

今年も夏の大宴会開催

明野のひまわり畑近辺は県内、県外からの車で駐車場への入場待ちの渋滞ができています。片側一車線道路なので駐車場待ちの車が並んでいると通行できず困ります。夏休みで遊びに来られたご家族と一緒に梅之木遺跡にお越しの折には、ヴィンテージゴルフ場方面から来るなどして、駐車待ち渋滞を回避する対策をして来られるのが良いかもしれません。梅之木遺跡駐車場も、いつかはひまわり畑の駐車場と同じように駐車待ちの渋滞ができるようなメジャーなスポットになれば！とも思いますが、「そのためには何が必要なのか」皆で知恵を出していただければと思います。

❖ 考古学講座も15回無事終了しました



始まる前は「15回も参加できるのか？」と思っていた考古学講座もついに最終回。7月28日はいつにも増して参加者が多く、満員御礼状態。これが最後かと思うとなんだか一抹の寂しさも感じます。単なる縄文時代の勉強会かと思っていたら、「考古学とは」から始まり「人類の進化」・・・なかなか縄文時代にたどり着きません。最後は人新世まで。「これからの地球がどのようになっていくのか・・・」「将来の人類(?)にとって今の時代はどのように思われるのか？」多くの皆さんが、一番気になっている事かもしれません。人類の歴史、地球の歴史からすれば、現在はほんの瞬間の出来事かもしれませんが、その瞬間、瞬間が地球の歴史を形作っていくかと思うと、日々の何気ない生活の一部もおろそかにはできないような気がしてきます。

今回、佐野さんの講座を通して多くの学びだけではなく、多くの新たな気づきがあった人も多いのではないかと思います。みなさんにとって、新たな出発点になったのであれば幸いです。みなさん毎週の参加、お疲れさまでした。そして、講義を準備していただいた佐野さん、改めて「ありがとうございました」。みな、続編を期待していると思いますので、よろしく!!!

❖ 梅之木大宴会（8月4日）

佐野さんの考古学講座が終了し、前期の作業も終了（暑さの対策も兼ねて強制終了）という、いつもながら意味不明な理由で「夏の大宴会」が開催されました。

主催者は、正確な参加人数を確認せず、とにかく「いっぱいきたね」。この大雑把さが、縄文的な集落の共同体のような関係でいいのかもしれませんが。

ポタン鍋のいのしし肉、バーベキューの鹿肉、命の恵みをおいしくいただきました。



子ども達は早速縄文住居探検 何が見えるかな？



おじさんたちは、
鹿肉を焼くのも
忙しいが、
それ以上に
試食とダジャレに
忙しい



鹿肉を手づかみで
パクリ

一番おいしそうに
食べていました



栗の木の下の木陰で
風もよく通り、
日頃の暑さを一時期
忘れさせてくれ
お腹も、気持ちも
満腹になりました

- ❖ 夏休み明けの作業開始は、9月初旬を予定していますが、作業参加予定表で日程をお知らせします。
- ❖ 今まで、竪穴住居建設作業に参加してこられなかった方も、考古学講座に参加してみて縄文時代の暮らしに興味が増した方も多いかと思います。9月からは毎週金曜日・土曜日に梅之木遺跡に集まって作業をしていますが、しゃべっている方が長い人も多くいます。「体力がないから」「毎週はむりだから」は関係ありません。口だけ参加もOKですので、ぜひ遊びに来てください。